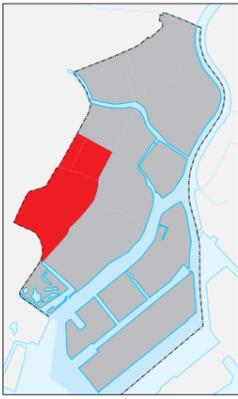


ディー D 現在の町なみ



八重洲二丁目、京橋一～三丁目、銀座一～八丁目

東京駅東側の八重洲口を出ると、目の前に広がるのが八重洲だ。このエリアには、江戸時代に整備された五街道の1つ、東海道（現・中央通り）が南北に通り、昔から多くの人々と物が行き来した。現在もこのエリアは、日本のビジネスと商業の中心となっている。



このエリアは赤い部分。

見どころには○印を、重要文化財には★印をつけています。



八重洲二丁目

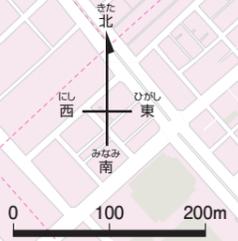
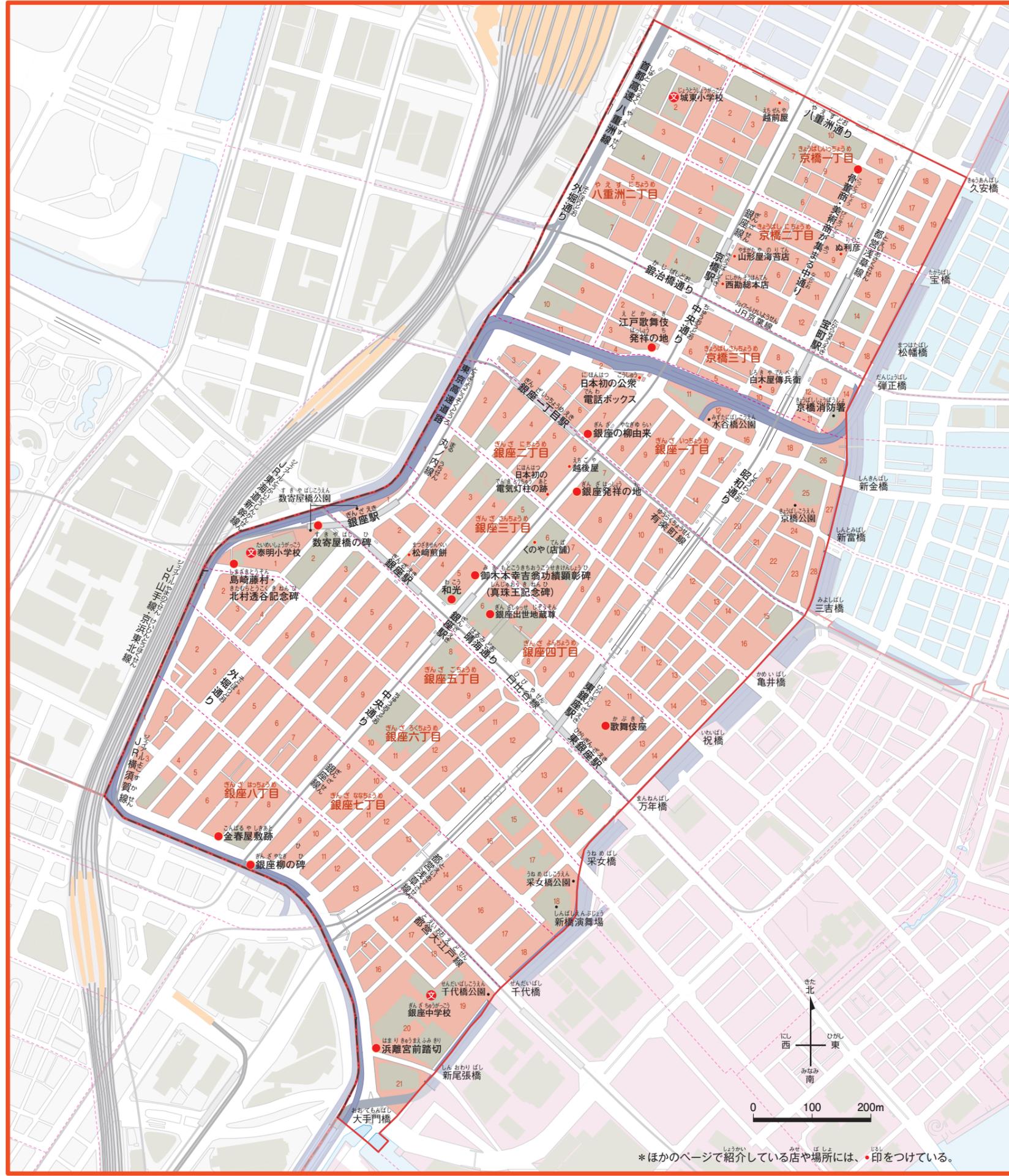
大きなオフィスビルや飲食店が建ち並ぶ八重洲は、日本橋、京橋への出入り口にもなっており、毎日多くの人が行き交う町だ。町名の由来は、オランダ商人の名前による（→p.146）。八重洲二丁目の大きな特色は、八重洲地下街の存在だ。八重洲地下街は、1963（昭和38）年に工事がはじまり、1969（昭和44）年に、東洋一の地下街として、正式に開業した。飲食店や雑貨店などが多い商店街は、東京一広い。

京橋

京橋は、オフィス街として、また、飲食店、商店でにぎわうと同時に、昔から画廊が集まる、芸術の町としても知られている。町名の由来は、昔、京橋三丁目と銀座一丁目の間を流れていた京橋川にかかる橋「京橋」による。橋は「日本橋」と同じところにかけられたと考えられ、日本橋を起点として京へ上る、東海道の最初の橋だったことから名づけられた。1959（昭和34）年、京橋川の埋め立てによって橋はなくなった。

銀座

銀座は、海外の高級ブランド店やデパート、老舗が集まる、世界有数の商業の町である。銀座が日本を代表する町であることから、日本全国に「○○銀座」と名づけられた商店街が、数多くある。町名の由来は、江戸時代のはじめに、銀をあつかう役所と銀貨の製造所（→p.26）があったことによる。1872（明治5）年の大火のあと、銀座には日本初の西洋風のれんが街がつけられ（→p.74）、文明開化の代名詞となった。



*ほかのページで紹介している店や場所には、●印をつけています。